

4. 一般講演（口頭発表）

化学系薬学①

A会場 理学部5号館 5104教室 9:00~10:00

座長：藤井 幹雄（東邦大）、永田 和弘（昭和大）

- A01 光学活性オキサゾリジノン体からのactisonitrileの全合成
○石田 晃浩¹、土田 萌子¹、杉山 重夫¹、石井 啓太郎¹
(¹明治薬大)
- A02 イオン液体中での α,β -不飽和- γ,δ -エピミノエステルとオレフィンとの光付加環化反応
○石澤 理穂¹、小野 仁美¹、杉山 重夫¹、石井 啓太郎¹
(¹明治薬大)
- A03 クマリン系天然物ノルデンタチンの合成と生物活性
○辰川 真理¹、Ploenthip Puthongking²、横屋 正志¹、齋藤 直樹¹
(¹明治薬大、²Khon Kaen University)
- A04 レニエラマイシン・サフラマイシン左半部モデル化合物の合成研究
○中井 啓陽¹、横屋 正志¹、齋藤 直樹¹
(¹明治薬大)
- A05 Paclitaxelの合成研究
○稲葉 達也¹、吉田 真悟¹、奥江 雅之²、斉藤 哲二²、高取 和彦¹、長岡 博人¹
(¹明治薬大、²東京薬大)

A会場 理学部5号館 5104教室 10:00~10:48

座長：下川 淳（東京大）、毛塚 智子（東海大）

- A06 タキサン型ジテルペノイドの合成研究
生方 直樹¹、○滝尾 大己¹、平井 善勝¹、長岡 博人¹
(¹明治薬大)
- A07 ザラゴジン酸類の合成研究
田中 健一¹、○長崎 翼¹、小清水 治太¹、小松 秀孝¹、好光 健彦¹、高取 和彦¹、
長岡 博人¹
(¹明治薬大)
- A08 光学活性ジベレリンA₃の合成研究
○松永 和磨¹、高橋 由人¹、小関 尊弘¹、西川 臨矢¹、岸田 敦¹、長岡 博人¹
(¹明治薬大)
- A09 トコトリエノール類の合成研究
新井 朝子¹、○小室 真理子¹、高取 和彦¹、長岡 博人¹
(¹明治薬大)

A会場 理学部5号館 5104教室 10:48~11:36

座長：原田 真至（千葉大）、鈴木 孝洋（東京理大）

- A10 アンセリジオーゲン-Anの合成研究
○大久保 綾美¹、高取 和彦¹、長澤 心¹、長岡 博人¹
(¹明治薬大)
- A11 新規抗血栓薬の開発を目指したSMTP-7類縁化合物の合成
○野田 あおい¹、永田 和弘¹、金光 卓也¹、宮崎 倫子¹、伊藤 喬¹
(¹昭和大薬)

- A12 Hamigeran Aの全合成
○澤田 真衣子¹、永田 和弘¹、金光 卓也¹、宮崎 倫子¹、伊藤 喬¹
(¹昭和大薬)
- A13 α -グルコシダーゼ阻害活性を有する天然物の不斉全合成及び生理活性検討
○森山 京英¹、中島 萌里¹、清藤 友紀¹、宮崎 倫子¹、永田 和弘¹、金光 卓也¹、
伊藤 喬¹
(¹昭和大薬)

化学系薬学②

B会場 理学部5号館 5105教室 9:00~9:48

座長：李 巍 (東邦大)、佐藤 忠章 (東邦大)

- B01 Phytochemical Investigation of *Juniperus sabina*
○Jenis Janar¹、Alfarius Eko Nugroho¹、Wong Chin Piow¹、平澤 祐介¹、森田 博史¹
(¹星薬大)
- B02 センダン科 *Walsura chrysogyne* より単離した新規リモノイドの構造研究
○Wong Chin Piow¹、奥田 真歩¹、Alfarius Eko Nugroho¹、平澤 祐介¹、金田 利夫¹、
森田 博史¹、A. Hamid A. Hadi²、代田 修³
(¹星薬大、²マラヤ大、³徳島文理大)
- B03 抗マラリア活性を有するcassiarin Aの構造活性相関に関する研究
○石川 登希夫¹、富澤 裕一郎¹、出口 潤¹、井上 大輔¹、平澤 祐介¹、本多 利雄¹、
森田 博史¹
(¹星薬大)
- B04 Zebrafishを利用した真菌由来メラニン生成抑制物質の探索
○二宮 早也夏¹、細江 智夫¹、輪千 浩史¹、河合 賢一¹、矢口 貴志²
(¹星薬大、²千葉大真菌セ)

B会場 理学部5号館 5105教室 9:48~10:36

座長：高取 和彦 (明治薬科)、横屋 正志 (明治薬科)

- B05 β -カルボリン系アルカロイドの合成研究
○芹澤 真佐樹¹、出口 潤¹、平澤 祐介¹、本多 利雄¹、森田 博史¹
(¹星薬大)
- B06 酵素による光学分割を用いたrohitukineの合成研究
○出口 潤¹、本多 利雄¹、森田 博史¹
(¹星薬大)
- B07 抗腫瘍性物質GKK1032A2の全合成研究
○千葉 雅史¹、加藤 諒¹、荒井 良和¹、内呂 拓実^{1,2}
(¹東理大薬、²東理大戦略的物理製剤学研究基盤セ)
- B08 CYP3A4阻害活性物質Diaporthichalasinの全合成
○岩村 直輝¹、田中 亮¹、塩野崎 宣裕¹、内呂 拓実^{1,2}
(¹東理大薬、²東理大戦略的物理製剤学研究基盤セ)

B会場 理学部5号館 5105教室 10:36~11:36

座長：津吹 政可 (星薬科)、杉山 重夫 (明治薬科)

- B09 抗マラリア活性物質Codinaeopsinの全合成
○倉科 りさ¹、山口 亮¹、塩野崎 宣裕¹、内呂 拓実^{1,2}
(¹東理大薬、²東理大戦略的物理製剤学研究基盤セ)

- B10 抗菌活性物質ピロシジン類の合成研究
○大石 健太郎¹、田中 遼¹、高梨 憲幸¹、長野 智彦¹、鈴木 孝洋¹、小林 進¹
(¹東理大薬)
- B11 リコブラジンHの合成研究
○金津 一樹¹、鈴木 孝洋¹、小林 進¹
(¹東理大薬)
- B12 核酸塩基を有するチオグリコシドを用いるグリコシル化反応の開発
○駒引 伸哉¹、齋藤 重人¹、栗原 正幸¹、福本 健人¹、北村 正典^{1, 2}、青木 伸^{1, 2}
(¹東理大薬、²東理大がん医療基盤科学技術研セ)
- B13 トウセンダニンの合成研究
○青木 直人¹、Sascha Jautze¹、占部 大介¹、井上 将行¹
(¹東大院薬)

化学系薬学③

C会場 理学部 5号館 5106教室 9:00~10:00

座長：日下部 太一（東邦大）、出水 庸介（国立衛研）

- C01 Pd触媒を用いたフェノール類の不斉分子内*ipso*-Friedel-Crafts型アリル位置換反応
○吉田 真理子¹、根本 哲宏¹、濱田 康正¹
(¹千葉大院薬)
- C02 二段階Diels-Alder反応による多環性骨格の触媒的不斉構築法の開発
○Li Kexin¹、平岡 紫陽¹、原田 真至¹、西田 篤司¹
(¹千葉大院薬)
- C03 炭素-炭素多重結合への触媒的シアノ化反応を基軸とする環化反応
○天児 由佳¹、荒井 秀¹、西田 篤司¹
(¹千葉大院薬)
- C04 炭素-窒素軸不斉インドールの触媒的不斉合成：エナンチオ選択性に及ぼすベンゼン環上の置換基効果
○空屋 礼乃¹、森元 雄大¹、清水 智¹、川野 亜希¹、北川 理¹
(¹芝浦工大工)
- C05 炭素-窒素軸不斉化合物の回転障壁に対する芳香族性の寄与について
○鈴木 奈緒美¹、景山 允人¹、上村 大地¹、北川 理¹
(¹芝浦工大工)

C会場 理学部 5号館 5106教室 10:00~11:00

座長：北川 理（芝浦工大）、安井 英子（工学院）

- C06 Box-Pd(II) 触媒によるフラノン類の合成：反応機構の考察
○高橋 健男¹、沈 融¹、河合 泰子¹、日下部 太一¹、持田 智行²、加藤 恵介¹
(¹東邦大薬、²神戸大理)
- C07 ルイス酸触媒を用いたマイケル付加反応によるC-H結合官能基化反応
○駒井 宏友¹、吉野 達彦¹、松永 茂樹¹、金井 求¹
(¹東大院薬)
- C08 *N*-アシルピロールの効率的合成法の開発
○前原 知明¹、菅野 廉太郎¹、横島 聡¹、福山 透¹
(¹東大院薬)

- C09 エピジチオピペラジンジオン骨格の不斉合成法の開発
○竹内 連¹、下川 淳¹、福山 透¹
(¹東大院薬)
- C10 α,β -不飽和 γ ブチロラクタムのニトロアルケンへの直接的触媒的不斉ビニロガス1,4付加反応の開発
○田辺 江業¹、許 応傑¹、松永 茂樹¹、金井 求¹、柴崎 正勝²
(¹東大院薬、²微化研)

C会場 理学部 5号館 5106教室 11:00~11:48

座長：松永 茂樹 (東京大)、荒井 秀 (千葉大)

- C11 ステープルペプチドを用いた α,β -不飽和ケトンの不斉エポキシ化
○出水 庸介¹、名児耶 早織¹、佐藤 由紀子¹、土井 光暢²、田中 正一³、奥田 晴宏¹、栗原 正明¹
(¹国立衛研、²大阪薬大、³長崎大院医歯薬)
- C12 アセチレンジコバルト錯体を利用したタンデム環化反応
○坂田 優希¹、高沢 祥平¹、田所 真介¹、安井 英子¹、宮下 正昭¹、南雲 紳史¹、水上 徳美²
(¹工学院大工、²北海道薬大薬)
- C13 Prins-Friedel-Craftsタンデム環化反応
○丹羽 孝徳¹、鈴木 裕治¹、安井 英子¹、宮下 正昭¹、南雲 紳史¹、水上 徳美²
(¹工学院大工、²北海道薬大薬)
- C14 海産マクロライド系抗生物質Tedanolide類の全合成研究
○山崎 淳一¹、石渡 達也¹、安井 英子¹、南雲 紳史¹、宮下 正昭¹
(¹工学院大院工)

化学系薬学④

D会場 理学部 5号館 5103教室 9:00~10:00

座長：北村 正典 (東京理大)、占部 大介 (東京大)

- D01 HIV外被タンパク質gp120の構造変化を誘起する低分子CD4ミミックの構造活性相関研究
○新井 啓之¹、鳴海 哲夫¹、野村 渉¹、原田 恵嘉²、吉村 和久²、松下 修三²、玉村 啓和¹
(¹東京医歯大生材研、²熊本大エイズ学研セ)
- D02 HIVタンパク質Vprを基にしたインテグラーゼ阻害剤の構造活性相関研究
○尾崎 太郎¹、浦野 恵美子²、鳴海 哲夫¹、野村 渉¹、Kasthuraiah Maddali³、Yves Pommier³、山本 直樹⁴、駒野 淳²、玉村 啓和¹
(¹東京医歯大生材研、²国立感染研エイズ研セ、³NIH、⁴NUS)
- D03 N-(ベンゾイルオキシ)スルホンアミドによる α,β -不飽和エノンのアジリジン化反応
○宍戸 美華¹、鳴海 哲夫¹、相川 春夫¹、玉村 啓和¹
(¹東京医歯大生材研)
- D04 クロロアルケン型ジペプチドイソスターの立体選択的合成法の開発
○清家 俊輔¹、鳴海 哲夫¹、相川 春夫¹、玉村 啓和¹
(¹東京医歯大院生材研)
- D05 細胞内蛋白質のタグ-プローブシステムを利用した蛍光イメージングツールの創製
○森 あつみ¹、野村 渉¹、大橋 南¹、鳴海 哲夫¹、玉村 啓和¹
(¹東京医歯大生材研)

D会場 理学部5号館 5103教室 10:00~11:00

座長: 忍足 鉄太 (帝京大)、鈴木 英治 (東邦大)

- D06 錯体形成部位を有するアポトーシス誘導剤の開発及びIn Silico Screeningを用いた新規抗がん剤の探索
○塚本 雅登¹、阿部 純平¹、岡田 正人²、大和田 勇人²、有安 真也³、高澤 涼子¹、田沼 靖一¹、青木 伸^{1,3}
(¹東理大薬、²東理大理工、³東理大がん医療基盤科学技術研究セ)
- D07 イリジウム錯体を用いた人工デスリガンドの設計と合成
○大多和 修平¹、大和田 紘喜¹、久松 洋介¹、鈴木 利宙^{2,3}、有安 真也³、北村 正典^{1,3}、安部 良^{2,3}、青木 伸^{1,3}
(¹東理大薬、²東理大生命科学研、³東理大がん医療基盤科学技術研究セ)
- D08 pHに応答して発光強度が変化するシクロメタレート型イリジウム錯体の設計と合成
○諸見里 真輔¹、久松 洋介¹、鈴木 利宙^{2,3}、安部 良^{2,3}、青木 伸^{1,3}
(¹東理大薬、²東理大生命科学研、³東理大がん医療基盤科学技術研究セ)
- D09 γ -セクレターゼモジュレーターをリガンドとする光標識プローブの合成
○熊崎 太信¹、谷村 瞬¹、大沢 智子¹、岩坪 威^{1,2}、富田 泰輔¹、横島 聡¹、福山 透¹
(¹東大院薬、²東大院医)
- D10 トリパノソーマ選択的DHOD阻害剤の合成
○田淵 俊行¹、松岡 茂¹、稲岡 ダニエル健²、本間 光輝³、田仲 昭子³、北 潔²、井上 将行¹
(¹東大院薬、²東大院医、³理研 生命分子システム基盤研究領域)

D会場 理学部5号館 5103教室 11:00~11:48

座長: 藤井 秀明 (北里大)、野村 渉 (医科歯科大)

- D11 アスコルビン酸のプロオキシダント効果に対するフラレン誘導体の抑制効果
○宮川 知美¹、高橋 恭子¹、中村 成夫²、増野 匡彦¹
(¹慶應大薬)
- D12 尿酸アナログの抗酸化活性と構造活性相関-2
○田中 陽子¹、安田 大輔¹、高橋 恭子¹、中村 成夫²、増野 匡彦¹
(¹慶應大薬、²日本医大)
- D13 フェンバレレート類縁体の合成
○川島 一騎¹、藤井 誠史郎²、小澤 明²、毛塚 智子¹
(¹東海大院工、²東海大医)
- D14 N-アシルベンゾジアゼピン誘導体の軸性キラリティーとバツプレシン受容体拮抗作用
○中込 純¹、田畑 英嗣¹、森園 大輔²、忍足 鉄太¹、高橋 秀依¹、夏苺 英昭¹
(¹帝京大薬、²東京医歯大)

化学系薬学⑤

E会場 理学部5号館 5102教室 9:00~9:48

座長: 内呂 拓実 (東京理大)、氷川 英正 (東邦大)

- E01 疎水性タグを用いたキチナーゼ阻害剤Argifinの液相全合成
○笠井 尚子²、廣瀬 友靖^{1,2}、秋元 隆史³、遠藤 綾子²、菅原 章公^{1,2}、長澤 和夫³、塩見 和朗^{1,2}、大村 智¹、砂塚 敏明^{1,2}
(¹北里大生命研、²北里大院感染制御、³東農大工生命)

- E02 マクロライド骨格をテンプレートとした新規キチナーゼ阻害剤のデザインと合成
 ○木村 紗穂莉²、斎藤 佳史²、菅原 章公^{1, 2}、廣瀬 友靖^{1, 2}、合田 浩明³、広野 修一³、
 大村 智¹、砂塚 敏明^{1, 2}
 (¹北里大生命研、²北里大院感染制御、³北里大薬)
- E03 フッ素を有する17位窒素置換基を導入したオピオイドδ受容体リガンドの合成
 ○飯原 祐輔¹、平山 重人¹、根本 徹¹、藤井 秀明¹、長瀬 博¹
 (¹北里大薬)
- E04 抗嫌気性菌活性を有するルミナミシンの合成研究
 ○君嶋 葵²、松丸 尊紀²、戸田 正輝²、廣瀬 友靖^{1, 2}、菅原 章公^{1, 2}、大村 智¹、
 砂塚 敏明^{1, 2}
 (¹北里大生命研、²北里大院感染制御)

E会場 理学部 5号館 5102教室 9:48~10:48

座長：横島 聡 (東京大)、庄司 満 (慶応大)

- E05 κ受容体作動薬の必須構造の検討
 ○今出 慧海¹、山田 貴明¹、原田 幸昌¹、平山 重人¹、長瀬 博¹
 (¹北里大薬)
- E06 SO₃Hシリカによるシリル保護基の脱保護の検討
 ○山田 貴明¹、藤井 秀明¹、信原 一敬²、長瀬 博¹
 (¹北里大薬、²富士シリシア化学)
- E07 オピオイド系プロペラン型化合物を用いた新規環化骨格の合成
 ○中嶋 龍¹、秋山 絢子¹、山本 直司¹、根本 徹¹、平山 重人¹、藤井 秀明¹、長瀬 博¹
 (¹北里大薬)
- E08 アザビシクロ[2.2.2]オクタン骨格を有する誘導体の合成とその薬理活性
 ○北澤 昭太¹、渡邊 義一¹、藤井 秀明¹、平山 重人¹、根本 徹¹、長瀬 博¹
 (¹北里大薬)
- E09 オキサアザトリシクロデカン構造を有する新規モルヒナン誘導体の合成
 ○林田 康平¹、藤井 秀明¹、平山 重人¹、根本 徹¹、長瀬 博¹
 (¹北里大薬)

E会場 理学部 5号館 5102教室 10:48~11:36

座長：生長 幸之助 (東京大)、南雲 紳史 (工学院)

- E10 高選択的高活性オピオイドδ受容体作動薬の合成
 ○松原 彩香¹、平山 重人¹、根本 徹¹、藤井 秀明¹、長瀬 博¹
 (¹北里大薬)
- E11 α-プロモケトンを用いた新規オキサゾールの合成法
 ○澤田 英樹¹、沢田 芳楠子¹、戸松 美有季¹、藤井 秀明¹、平山 重人¹、根本 徹¹、
 長瀬 博¹
 (¹北里大薬)
- E12 1,3,5-トリオキサアザトリキナン骨格を有するホモ、ヘテロトリマーの選択的合成と創薬への応用
 ○和田 直久¹、平山 重人¹、藤井 秀明¹、根本 徹¹、長瀬 博¹
 (¹北里大薬)
- E13 Atpenin A5の構造活性相関研究
 ○樋浦 徹¹、大多和 正樹¹、森 美穂子²、塩見 和朗²、大村 智²、長光 亨¹
 (¹北里大薬、²北里大生命研)

医療系薬学（生物薬剤学を含む）

F会場 理学部5号館 5101教室 9:00~10:00

座長：宮内 正二（東邦大薬）、荻原 琢男（高崎健康福祉大）

- F01 リポソームへの効率的導入のためのVIP-Lipopeptideの改良
○今井 涼介¹、真坂 互¹、小出 優貴¹、八木 信宏¹、川飛 翔¹、横山 祐作¹
（¹東邦大薬）
- F02 ウリナスタチン膈坐剤の最適製法及び安定性の評価
○八巻 琢哉¹、加賀 公³、岩佐 澄子²、吉橋 泰生²、米持 悦生²、真坂 互³、
寺田 勝英²、森山 広思¹
（¹東邦大理、²東邦大薬、³東邦大佐倉病院）
- F03 皮膚内におけるタクロリムスの移動動態に関する基礎的研究
○佐藤 鷹也¹、鈴木 千尋¹、木内 貴章¹、江川 祐哉¹、大島 新司¹、細谷 治¹、
従二 俊彦¹、関 俊暢¹
（¹城西大薬）
- F04 デイオスゲニン皮膚中濃度の向上を目的とした薬剤学的検討
○大川原 正喜¹、徳留 嘉寛¹、藤堂 浩明¹、杉林 堅次¹、橋本 フミ恵¹
（¹城西大薬）
- F05 水溶性両性化合物の皮膚透過性に及ぼすイオンコンプレックスの影響
○河野 友美¹、林 奈緒子¹、石井 宏¹、藤堂 浩明¹、杉林 堅次¹
（¹城西大薬）

F会場 理学部5号館 5101教室 10:00~11:00

座長：奥平 和穂（東邦大薬）、杉林 堅次（城西大）

- F06 ヒトフラビン含有モノオキシゲナーゼ3が関与する薬物相互作用
○佐藤 歩¹、清水 万紀子¹、白石 有紗¹、永島 里美¹、村山 典恵¹、山崎 浩史¹
（¹昭和薬大）
- F07 マルチプレックスPCR法を用いたフラビン含有モノオキシゲナーゼ3遺伝子多型判定法の確立
○池田 恵理奈¹、清水 万紀子¹、徳本 久乃¹、村山 典恵¹、山崎 浩史¹
（¹昭和薬大）
- F08 ヒト生理学的薬物動態（PBPK）モデルの最適化のための肝可溶性画分の必要性の検証
○國兼 絵里子¹、村山 典恵¹、塚田 藍¹、高野 良治¹、北島 正人²、清水 万紀子¹、
池田 敏彦³、山崎 浩史¹
（¹昭和薬大、²富士通九州システムズ、³横浜薬大）
- F09 ナフトキノンモノオキシム誘導体の癌細胞増殖抑制作用の検討
○柳原 碧¹、佐藤 洋美¹、山田 仁²、矢野 友啓²、石川 勉¹、上野 光一¹
（¹千葉大院薬、²東洋大生命科学）
- F10 悪性中皮腫細胞における γ -トコトリエノール(γ -T3)とスタチンの併用効果
○一之宮 紗紀¹、佐藤 洋美¹、柳原 碧¹、矢野 友啓²、上野 光一¹
（¹千葉大院薬、²東洋大院生命科学）

F会場 理学部5号館 5101教室 11:00~12:00

座長：大林 雅彦（東邦大薬）、山崎 浩史（昭和薬科大）

- F11 酸化ストレスからのhypotaaurineによる胎盤細胞保護効果
○Mariam Duereh¹、西村 友宏¹、巨勢 典子¹、登美 斉俊¹、中島 恵美¹
（¹慶應大薬）

- F12 アムロジピンはペプチドトランスポーター1 (PEPT1) の基質である
○当田 達也¹、森本 かおり¹、登坂 愛¹、叶 隆¹、荻原 琢男¹
(¹高崎健康福祉大薬)
- F13 イコサペント酸エチル製剤を用いた先発品とジェネリック医薬品の品質評価
○小玉 菜央¹、金本 理沙¹、叶 隆¹、金子 雅文¹、森本 かおり¹、荻原 琢男¹
(¹高崎健康福祉大薬)
- F14 白金系抗がん剤オキサリプラチンの静脈注射による注射部位反応に関する研究
○黒岩 亮平¹、半田 智子¹、宮野 正広^{1,2}、清水 久範²、武井 比呂美³、小笠原 京子³、
佐藤 温⁴、村山 純一郎^{1,2}、加藤 裕久¹
(¹昭和大薬、²昭和大病院薬、³昭和大病院看護部、⁴昭和大病院腫瘍内科)
- F15 薬学部実務実習における携帯情報端末 (PDA) の有効活用に関する研究
○柳沢 侑子¹、半田 智子¹、加藤 裕久¹
(¹昭和大薬)

薬理系薬学

F会場 理学部5号館 5101教室 15:00~15:36

座長：森 麻美 (北里大・薬)

- F16 腸間膜動脈の弛緩反応に関わるbeta-アドレナリン受容体サブタイプとKチャンネルとの共役の可能性の検討
○飯干 祐里¹、重松 舞衣¹、茅野 大介¹、田中 芳夫¹
(¹東邦大薬)
- F17 実験的マウスモデルの子宮内膜症様病変におけるプロテアーゼ活性化受容体(PAR)の機能
○高橋 未来¹、沓掛 真彦¹、加藤 隆太郎¹、吉江 幹浩¹、田村 和広¹、立川 英一¹
(¹東京薬大薬)
- F18 治療抵抗性うつ病モデルマウスに対するglucagon-like peptide-2の抗うつ作用に関する組織化学的検討
○由利 洋一¹、大貫 智子¹、濱田 幸恵¹、岡 淳一郎¹
(¹東理大薬)

F会場 理学部5号館 5101教室 15:36~16:12

座長：濱田 幸恵 (東京理科大・薬)

- F19 グルココルチコイドの慢性的な投与によるうつ様・不安様行動と扁桃体神経細胞の形態変化
○鳥上 洋¹、松木 則夫¹、野村 洋¹
(¹東大院薬)
- F20 高食塩負荷誘発性異常アルドステロン産生の分子機序の解明
○小沢 花慧^{1,2}、佐野 元昭²、福田 恵一²、鈴木 岳之¹
(¹慶應大薬、²慶應大医)
- F21 I型糖尿病モデルラットにおける白内障の進行に対するレスベラトロールの効果
○東 恵広¹、森 麻美¹、坂本 謙司¹、中原 努¹、石井 邦雄¹
(¹北里大薬)

F会場 理学部5号館 5101教室 16:12~16:48

座長：茅野 大介 (東邦大・薬)

- F22 Tsumura Suzuki Obese Diabetesマウスにおけるオートファジーを介した心機能保護機構の解明
○八木 美幸¹、宮田 茂雄¹、仲澤 幹雄²、河田 登美枝¹
(¹武蔵野大薬、²新潟大医)

- F23 心臓由来線維芽細胞における筋収縮タンパク質の発現調節
 ○木内 茂樹¹、菅原 大典¹、秋山 綺¹、大庭 弓佳¹、野口 泰菜¹、下山 多映²、
 大塚 文徳²、鈴木 重人¹、上園 崇¹、栗原 順一¹、小野 景義¹
 (¹帝京大薬、²帝京大薬)
- F24 伸展刺激に起因するモルモット肺静脈心筋の高頻度自発活動について
 ○疋田 康¹、恒岡 弥生¹、行方 衣由紀¹、田中 光¹
 (¹東邦大薬)

分析系薬学

G会場 薬学部C館 102教室 10:00~10:48

座長：袴田 秀樹 (東京薬大)、一場 秀章 (東邦大)

- G01 セルロースを用いたHILIC分離の試み
 ○高橋 史明¹、佐野 明¹
 (¹東理大薬)
- G02 LC/MS/MSを用いた尿中 α -リボ酸の光学異性体分析
 ○小林 由幸¹、斉藤 貢一¹、岩崎 雄介¹、伊藤 里恵¹、中澤 裕之¹
 (¹星薬大)
- G03 酸化および窒素化ストレス評価のためのチロシン類縁物質の分析
 ○望月 圭祐¹、岩崎 雄介¹、伊藤 里恵¹、斉藤 貢一¹、中澤 裕之¹
 (¹星薬大)
- G04 酸化ストレス評価のための血清中チオール化合物の分析
 ○中野 有紀¹、岩崎 雄介¹、伊藤 里恵¹、斉藤 貢一¹、中澤 裕之¹
 (¹星薬大)

G会場 薬学部C館 102教室 10:48~11:36

座長：大和 進 (新潟薬大)、飯塚 英昭 (東邦大)

- G05 *N*-acetylneuraminic acidとその酸化体ADOAの蛍光分析法の開発について
 ○太田 達宏¹、飯島 亮介¹、油井 聡¹、安田 誠¹、福内 友子¹、山岡 法子¹、
 馬渡 健一¹、金子 希代子¹、中込 和哉¹
 (¹帝京大薬)
- G06 ウロモジュリン関連腎症モデルマウスにおけるC148W変異ウロモジュリンの解析
 ○安田 誠¹、蜂須 広佳¹、福内 友子¹、山岡 法子¹、馬渡 健一¹、中込 和哉¹、
 細山田 真¹、金子 希代子¹
 (¹帝京大薬)
- G07 食品中に含まれるプリン体の測定
 ○稲沢 克紀¹、大久保 寿一¹、佐々木 ひかる¹、野々宮 菜彌¹、加藤 由佳¹、坂本 実花¹、
 佐藤 亜衣¹、福内 友子¹、山岡 法子¹、安田 誠¹、馬渡 健一¹、中込 和哉¹、
 金子 希代子¹
 (¹帝京大薬)
- G08 GC-MSおよびsweeping-MEKCを用いるステロイドホルモン産生抑制物質の探索
 ○長谷川 絵梨¹、中川 沙織¹、大和 進¹
 (¹新潟薬大薬)

製剤系薬学

H会場 薬学部C館 103教室 9:00~9:48

座長：深水 啓朗（日大薬）

- H01 アシクロビルのCocrystalスクリーニング及び溶解性の検討
○李 丹瑜¹、藤井 孝太郎²、植草 秀裕²、吉橋 泰生¹、米持 悦生¹、寺田 勝英¹
(¹東邦大薬、²東工大)
- H02 医薬品分子拡散速度による非晶質固体分散体安定性の評価
○佐野 翔平¹、吉橋 泰生¹、米持 悦生¹、寺田 勝英¹
(¹東邦大薬)
- H03 糖類によるactinidinの凍結乾燥時における安定性の検討
○石神 俊和¹、長瀬 弘昌¹、古石 誉之¹、遠藤 朋宏¹、西山 一郎²、岡田 昌己²、
城 文子³、寺尾 啓二³、上田 晴久¹
(¹星薬大、²駒沢女子大、³株シクロケム)
- H04 溶液及び固体状態におけるセルトラリンとβ-シクロデキストリンの相互作用検討
○橋本 拓郎¹、小川 法子²、古石 誉之¹、長瀬 弘昌¹、遠藤 朋宏¹、上田 晴久¹
(¹星薬大、²愛知学院大薬)

H会場 薬学部C館 103教室 9:48~10:24

座長：長瀬 弘昌（星薬大）

- H05 NMR characterization of self-aggregation behavior of α-glucosylhesperidin in water
○張 峻穎¹、戸塚 裕一²、内山 博雅²、東 顕二郎¹、Waree Limwikanant¹、森部 久仁一¹、
竹内 洋文²、山本 恵司¹
(¹千葉大院薬、²岐阜薬大)
- H06 クロモグリク酸Na擬似多形及び製剤の²³Na MQMAS NMRによる評価
○海野 真¹、Waree Limwikanant¹、東 顕二郎¹、森部 久仁一¹、山本 恵司¹
(¹千葉大院薬)
- H07 特異的な構造を有するASC-DP/DSPE-PEGナノ微粒子の物性及び抗腫瘍活性評価
○壬生 総子¹、齋藤 謙悟²、Waree LIMWIKRANT¹、東 顕二郎¹、森部 久仁一¹、
山本 恵司¹
(¹千葉大院薬、²千葉大医)

H会場 薬学部C館 103教室 10:24~11:12

座長：高島 由季（東京薬大）

- H08 直鎖飽和脂肪酸/ニコチンアミド複合体の固体物性の検討
○服部 雄気¹、長瀬 弘昌¹、古石 誉之¹、遠藤 朋宏¹、上田 晴久¹
(¹星薬大)
- H09 乾式法による架橋型ポリビニルピロリドンを用いた固体分散体生成に及ぼす水および有機溶媒の影響
○柴田 佳世子¹、藤井 まき子¹、中西 清香¹、上之 ゆき乃¹、小泉 直也¹、渡辺 善照¹
(¹昭和薬大)
- H10 O/Wエマルション製剤からの美白成分の皮膚透過性：代替膜を用いた評価
○河村 静香¹、押坂 勇志¹、内田 崇志^{1,2}、藤堂 浩明¹、杉林 堅次¹
(¹城西大薬、²カネボウ化粧品)

- H11 皮膚中セラミド変化を目的としたDPPG含有スフィンゴミエリンリポソームの効果
○丸山 裕大¹、徳留 嘉寛¹、神野 みゆき¹、藤堂 浩明¹、金 辰彦²、杉林 堅次¹、
橋本 フミ恵¹
(¹城西大薬、²シャローム)

H会場 薬学部C館 103教室 11:12~11:48

座長：東 顕二郎 (千葉大薬)

- H12 非ラメラ液晶の経皮薬物送達キャリアとしての有用性
○関口 翔平¹、石井 宏¹、藤堂 浩明¹、土黒 一郎²、杉林 堅次¹
(¹城西大薬、²ケムジェネシス)
- H13 脳腫瘍治療を目的としたsiRNA高分子ミセルのNose-to-Brain delivery
○大澤 絵梨¹、森崎 一貴¹、鈴木 翔平¹、秋山 史成¹、金沢 貴憲¹、高島 由季¹、
岡田 弘晃¹
(¹東京薬大薬)
- H14 リポソーム点眼剤による後眼部への核酸デリバリー
○土屋 智裕¹、高島 由季¹、五十嵐 祐子¹、金沢 貴憲¹、Arto Urtili²、岡田 弘晃¹
(¹東京薬大薬、²University of Helsinki)

環境衛生系薬学

I会場 薬学部C館 104教室 9:00~10:12

座長：工藤 なをみ (城西大薬)、菅野 裕一朗 (東邦大薬)

- I01 骨芽細胞におけるメラトニン受容体発現機構の解析
○池田 勸¹、金木 弘之¹、小倉 宏之¹、山賀 亮祐¹、井手 速雄¹
(¹東邦大薬)
- I02 ケルセチンは炎症性サイトカインによる骨芽細胞機能低下を抑制する
○小倉 宏之¹、金木 弘之¹、池田 勸¹、山賀 亮祐¹、桐生 道明¹、井手 速雄¹
(¹東邦大薬)
- I03 細胞培養液および血清関連製品中のパーフルオロ化合物の分析
○寺山 絵美¹、岩崎 雄介¹、伊藤 里恵¹、斉藤 貢一¹、杉野 法広²、塩田 邦郎³、
牧野 恒久⁴、中澤 裕之¹
(¹星薬大、²山口大医、³東大院農、⁴東部病院)
- I04 カラムスイッチング-オンカラム蛍光誘導体化法による食肉中コリスチンの残留分析
○坂本 泰洋¹、斉藤 貢一¹、方波見 志織¹、岩崎 雄介¹、伊藤 里恵¹、中澤 裕之¹
(¹星薬大)
- I05 ユリ科植物のニンニクにおけるテルル化合物の代謝機構の解明
○大石 恭子¹、阿南 弥寿美¹、八幡 紋子¹、小椋 康光²
(¹昭和薬大薬、²昭和薬大ハイテクリサーチセンター)
- I06 放射線生物影響におけるTRPM2チャネルの関与
○増本 佳那子¹、月本 光俊¹、小島 周二¹
(¹東理大薬)

I会場 薬学部C館 104教室 10:12~11:24

座長：阿南 弥寿美 (昭和大薬)、山崎 正博 (星薬大)

- I07 γ 線惹起DNA鎖損傷修復過程でのATPシグナリングの関与
○西巻 奈央子¹、月本 光俊¹、小島 周二¹
(¹東理大薬)

- I08 低線量 γ 線誘発EGF受容体フォーカス形成におけるP2Y6受容体およびADAM17の関与
○北見 彰啓¹、玉石 奈々¹、月本 光俊¹、小島 周二¹
(¹東理大薬)
- I09 家庭用品から溶出するフタル酸エステル類の皮膚透過性に関する研究
○増茂 裕子¹、藤堂 浩明¹、杉林 堅次¹
(¹城西大薬)
- I10 ダイオキシン類による糖代謝異常モデルマウスの作成
○詫磨 正史¹、牛島 健太郎¹、石川 瑛子¹、安藤 仁¹、藤村 昭夫¹
(¹自治医大臨床薬理)
- I11 AhRによる乳癌細胞増殖抑制機構
○趙 帥¹、菅野 裕一郎¹、牧村 南¹、中山 桃香¹、井上 義雄¹
(¹東邦大薬)
- I12 CARの転写活性調節機構におけるSIRT1の役割
○田沼 信明¹、菅野 裕一郎¹、井上 義雄¹
(¹東邦大薬)

生物系薬学①

J会場 薬学部C館 302教室 9:00~10:00

座長：杉田 隆 (明治薬科大)

- J01 マクロファージ活性化過程におけるATPシグナリングの関与
○榊 隼人¹、月本 光俊¹、小島 周二¹
(¹東理大薬)
- J02 メサンギウム細胞におけるTGF- β 誘発COX-2発現へのATPシグナリングの関与の検討
○中島 隆文¹、月本 光俊¹、小島 周二¹
(¹東理大薬)
- J03 P2X7受容体阻害薬によるin vivo血管新生抑制効果
○關 静香¹、月本 光俊¹、小島 周二¹
(¹東理大薬)
- J04 HL60細胞分化に伴ったSUMO1遺伝子発現変動の解析
○大山 貴央¹、岡田 摩耶¹、内海 文彰¹、田沼 靖一¹
(¹東理大薬)
- J05 多機能シャトルタンパク質ヌクレオリンと結合する新規タンパク質の探索と解析
○渋谷 大輝¹、神山 暁哉¹、福田 武人¹、関 貴之¹、平野 和也¹、別府 正敏¹
(¹東京薬大薬)

J会場 薬学部C館 302教室 10:00~11:00

座長：武藤 里志 (東邦大薬)

- J06 ジンチョウゲ科*Phaleria macrocarpa*の果実エキスのメラニン産生抑制活性に関する研究
○染谷 咲¹、大澤 佑果¹、内田 響子¹、Alfarius E. Nugroho¹、Noor Cholies Zaini²、
平澤 裕介¹、金田 利夫¹、森田 博史¹
(¹星薬大、²アイルランガ大)
- J07 センダン科*Chisocheton ceramicus*樹皮のメラニン産生抑制活性に関する研究
○外園 弥生¹、飯島 千絵¹、Wong Chin Piow¹、Alfarius Eko Nugroho¹、A.Hamid A.Hadi²、
平澤 裕介¹、金田 利夫¹、森田 博史¹
(¹星薬大、²マラヤ大)

- J08 アトピー性皮膚炎患者皮膚から分離された抗生物質産生細菌
○坂本 大¹、小山 清隆¹、杉田 隆¹
(¹明治薬大)
- J09 次世代高速DNAシーケンサーを用いたアトピー性皮膚炎患者皮膚細菌叢の網羅的解析
○田中 貴文¹、杉田 隆¹
(¹明治薬大)
- J10 時間経過による恐怖反応の増強および回復の行動学的解析
○今村 菜津子¹、松木 則夫¹、野村 洋¹
(¹東大院薬)

J会場 薬学部C館 302教室 11:00~12:00

座長：平野 和也 (東京薬科大)

- J11 高ホモシステイン誘導による変形性関節症モデル軟骨細胞に対するバタインの影響
○近藤 みさな¹、中谷 祥恵¹、名倉 泰三²、古旗 賢二¹、和田 政裕¹
(¹城西大薬、²日本甜菜製糖・食品事業部)
- J12 四糖ヒアルロン酸オリゴ糖皮膚透過性の基礎的検討
○鹿毛 まどか¹、徳留 嘉寛¹、橋本 フミ恵¹
(¹城西大薬)
- J13 グルコシルセラミドリポソームの調製と三次元培養皮膚適用によるセラミド量の変化
○遠藤 麻未子¹、築地 春菜¹、徳留 嘉寛¹、橋本 フミ恵¹
(¹城西大薬)
- J14 1対で反応するジンクフィンガーリコンビナーゼの設計とその反応
○ト部 亜里沙¹、野村 渉¹、増田 朱美¹、玉村 啓和¹
(¹東京医歯大生材研)
- J15 CXCR4二量状態解析のための2価結合型リガンドの合成
○相馬 晃¹、野村 渉¹、田中 智博¹、鳴海 哲夫¹、相川 春夫¹、玉村 啓和¹
(¹東京医歯大生材研)

生物系薬学②

K会場 薬学部C館 303教室 9:00~10:00

座長：中山 祐治 (千葉大)

- K01 高速イメージングによる大脳皮質血流の網羅的な解析
○高原 雄史¹、松木 則夫¹、池谷 裕二¹
(¹東大院薬)
- K02 JAK2変異体のシグナル伝達経路におけるPimの機能解析
○田中 和之¹、多胡 めぐみ¹、笠原 忠¹
(¹慶應大薬)
- K03 ピロリジニウム型フラレン誘導体のJAK2変異体発現細胞のアポトーシス誘導効果
○塚田 昌樹¹、豆田 有香¹、多胡 めぐみ¹、中村 成夫¹、増野 匡彦¹、笠原 忠¹
(¹慶應大薬)
- K04 ヒトABCB5はATPase活性を有するが、ABCB1の基質は活性に影響を与えない
○川野邊 峻哲¹、野口 耕司¹、片山 和浩¹、三橋 純子¹、杉本 芳一¹
(¹慶應大薬)
- K05 慢性骨髄増殖性腫瘍由来JAK2変異体による抗がん剤耐性におけるFANCCの役割
○上田 史仁¹、鷺見 和也¹、多胡 めぐみ¹、園田 よし子¹、笠原 忠¹
(¹慶應大薬)

K会場 薬学部C館 303教室 10:00~11:00

座長:小島 周二(東京理大薬)

- K06 極性細胞におけるSrc型チロシンキナーゼの局在解析
○岩本 遼¹、岡本 彩¹、小幡 裕希¹、千代 理恵子¹、福本 泰典¹、中山 祐治¹、
山口 直人¹
(¹千葉大院薬)
- K07 Src型チロシンキナーゼLynのゴルジを介した細胞内輸送経路の解析
○岡本 彩¹、千代 理恵子¹、岩本 遼¹、福本 泰典¹、中山 祐治¹、山口 直人¹
(¹千葉大院薬)
- K08 分裂期におけるLynチロシンキナーゼを介したチロシンリン酸化タンパク質の解析
○津田 邦彦¹、福本 泰典¹、服部 泰之¹、岡本 麻依¹、阿部 紘平¹、久保田 翔¹、
中山 祐治¹、山口 直人¹
(¹千葉大院薬)
- K09 DNA複製におけるSrc型チロシンキナーゼの影響
○三浦 崇仁¹、福本 泰典¹、久保田 将一¹、森井 真理子¹、中山 祐治¹、山口 直人¹
(¹千葉大院薬)
- K10 Src型チロシンキナーゼFynによりリン酸化される分裂期スピンドル結合蛋白質の探索
○岡本 麻依¹、中山 祐治¹、盛永 敬郎¹、阿部 紘平¹、福本 泰典¹、山口 直人¹
(¹千葉大院薬)

K会場 薬学部C館 303教室 11:00~12:00

座長:東 祐太郎(東邦大薬)

- K11 c-Src誘導発現による細胞分裂期チロシンリン酸化の解析
○武田 祐美¹、中山 祐治¹、阿部 紘平¹、津田 邦彦¹、松井 優紀¹、岡本 麻依¹、
福本 泰典¹、山口 直人¹
(¹千葉大院薬)
- K12 チロシンリン酸化シグナリングによるDNA損傷応答制御
○森井 真理子¹、福本 泰典¹、三浦 崇仁¹、久保田 翔¹、青山 和正¹、本田 拓也¹、
中山 祐治¹、山口 直人¹
(¹千葉大院薬)
- K13 細胞分裂期におけるリン酸化ATF-2の局在変化
○長谷川 仁美¹、石橋 賢一¹、中山 祐治¹、福本 泰典¹、横山 和尚²、山口 直人¹
(¹千葉大院薬、²高雄醫學大)
- K14 v-Srcが誘導するchromosomal passenger complexの局在異常による細胞の多核化
○添田 修平¹、中山 祐治¹、本田 拓也¹、阿部 紘平¹、青木 杏未¹、田村 直樹¹、
福本 泰典¹、山口 直人¹
(¹千葉大院薬)
- K15 生理的濃度のホルモンFGF19の受容に不可欠な硫酸化グリコサミノグリカン
○中村 真男^{1,2}、上原 ゆり子¹、浅田 眞弘¹、本田 絵美¹、永井 尚子^{3,4}、木全 弘治³、
鈴木 理^{1,2}、今村 亨¹
(¹産総研バイオメディカル、²茨大院理工、³愛知医大先端医学医療研究拠点、⁴愛知医大分子医科学研)